

植物の縁起物のかたち

おめでたい食べもの

縁起物とは、よい事があるように祈るための品物のことで、たとえば招き猫や熊手が挙げられます。

食べものにも縁起物があり、とくに新年を寿ぐおせち料理には、縁起物とされる食材が多く使われます。このうち、植物の縁起物をご紹介します。

ゴボウ

細く長く、地に根を張る様子が長寿や安定を連想させる縁起物です。



レンコン

穴が先まで通っていること、またその穴から向こうがみえることから、「先を見通せる」という意味を見出し、縁起のよい食べものとされています。縁起のよいこの穴は、酸素を取り込みにくい水中の根に空気を運ぶための穴です。「蓮根」とも書きますが、食べている部分は根ではなく、地下茎です。



クワイ

勢いよく芽が出ている様子から、「芽が出る」、「目出たい」縁起物とされています。



ソラマメ／おたふく豆

大きなソラマメのことを「おたふく豆」とよんでいます。「お多福」、「阿多福」の字が当てられることもあります。まるでおたふく面のように、ふくふくとした形。ふくやかであることは、ゆたかさを連想させます。



文 森田奈菜 撮影 大島康宏

森田奈菜・大島康宏編『ボタニカル・デザイン—植物のかたち、その観察—』（三重県総合博物館第23回企画展図録）、三重県総合博物館、2019年 より